

71th 東京みなと祭

東京海洋大学練習船「海鷹丸」一般公開



満船飾を付けた海鷹丸

- ◆事業名 第71回東京みなと祭
(東京海洋大学練習船「海鷹丸」一般公開)
- ◆活動主体 東京みなと祭協議会
(東京海洋大学)
- ◆対象者 一般
- ◆開催日 令和元年5月18(土), 19日(日)
(海鷹丸一般公開:5月18日(土))

◆関連URL

<https://www.tokyoport.or.jp/minato71/>

目的

東京港は昭和16年5月20日に国際貿易港として開港しました。東京みなと祭はそれを記念し、毎年5月20日前後の土日に晴海ターミナルをメイン会場として、様々なイベントを繰り広げています。東京海洋大学では、一般の皆様にも、海に親しみ・興味を持っていただくため、毎年、練習船「海鷹丸」が「珍しい船の一般公開」に参加し、多くの来場者の方々へ一般公開しています。

概要(実施イベント)・成果

5月18日-19日、晴海客船ターミナルにおいて、第71回東京みなと祭(東京みなと祭協議会主催)が開催され、本学からは練習船「海鷹丸」が「珍しい船の一般公開」に参加し、2,000人を超える来場者がありました。海鷹丸の船橋、機関室の他、学生生活区間、大学練習船ならではの航海機器、調査・観測機器、測定機器、漁労設備等について、船舶教職員や水産専攻科学生からの説明に熱心に耳を傾け、質問をする来場者が見受けられました。

期待される効果

東京海洋大学練習船「海鷹丸」を一般公開することによって、本学が行っている最先端の教育研究活動に対する理解度、認知度の向上とともに、多くの一般の皆様にも、海に親しみ・興味を持っていただくことになった。



多くの見学者(船橋にて)



港に並ぶ珍しい船